

# 右折レーンカラー舗装により 県内事故最多交差点の事故が減少

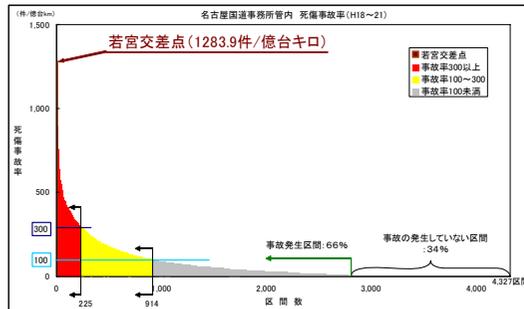
- ・交差点付近でのカラー舗装により、迷走走行や右折車線から直進車線への無理な車線変更が95%減少
- ・交差点のコンパクト化等により、左折車両と自転車・歩行者がぶつかりそうになる(ヒヤリハット)現象が75%減少

### 【位置図】

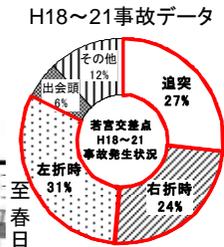
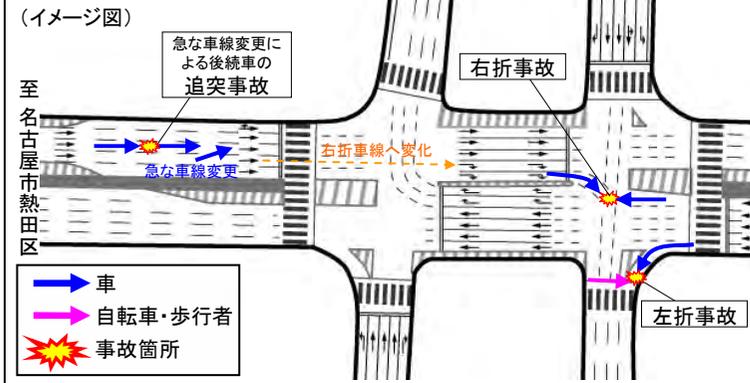


- 一般国道19号若宮交差点は、
  - ・平成18年～21年までに死傷事故が135件発生
  - ・死傷事故率※は1,283.9件/億台キロであり、管内でワースト1位(管内平均事故率89.1件/億台キロ)
  - ・愛知県内で平成21年交通事故多発ワースト1位交差点
- ※「死傷事故率」とは、1万台の車が1万km走行した場合に起こる死傷事故件数

### 【死傷事故率曲線】 (出典:交通事故統計表データ H21)



### 【対策前・事故発生状況】 (イメージ図)



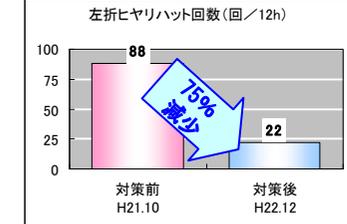
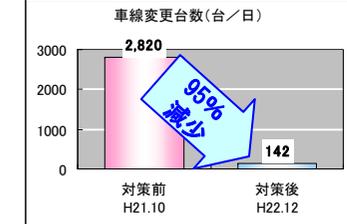
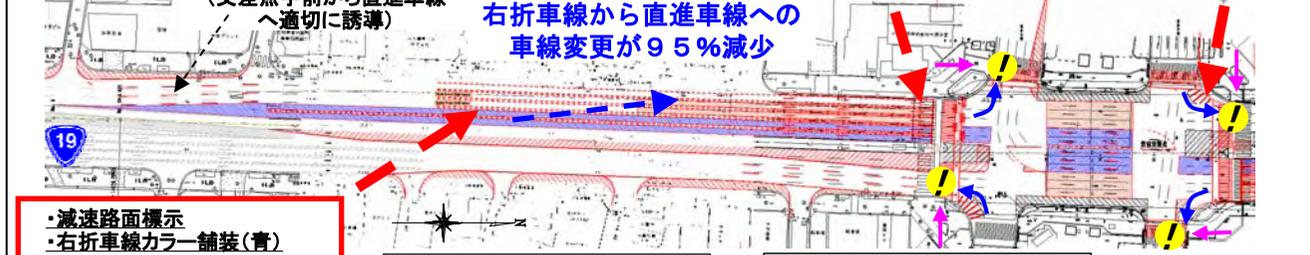
- ・事故については、追突・右折・左折事故で全体の約8割を占めている。
- ・直進レーンが交差点手前で右折レーンとなるため、直進車の急な車線変更による追突事故が発生している。
- ・右折需要が多く、右折車線が多車線となっており、無理な右折に伴う右折事故が発生している。
- ・交差点面積が大きいので、左折時の速度が高く、歩行者・自転車との事故が発生している。

### 【対策結果】

着目する事故	具体的対策
交差点付近での追突事故	・《直進車線》: 減速路面標示 ・区画線の見直し (交差点手前から直進車線へ適切に誘導)
交差点内での右折事故	・《右折車線》: カラー舗装(青) ・(信号のセパレート化)
歩行者・自転車との左折事故	・交差点コンパクト化 ・左折巻き込みカラーゼブラ ・(信号のセパレート化)



### ■ 対策後



※「左折ヒヤリハット」とは、交差点左折車と横断者(歩行者・自転車)が接触しそうな状況 (横断者が左折車のために横断を中止したり、左折車が急ブレーキを踏む等)